

研究へのご協力をお願い

研究課題

「病理組織学的手法を用いた刺激性薬物乱用のスクリーニング検査の開発」

薬物乱用は、大きな社会的な問題です。しかしながら、法医解剖やそれに伴う検査では、薬物の使用歴を明らかにする客観的な指標は確立されておられません。これまでに、薬物乱用モデル動物の脳では、神経細胞のマーカータンパク質に変化が見られる事が明らかになっています。そこで、刺激性薬物の使用事例と、その他の薬物事例、明らかに薬物とは関連しない事例を比較する事により、薬物使用を特徴づける客観的な指標を明らかにすることを目的としています。

研究への参加の撤回の自由について

司法解剖は、捜査の一環として行われるため、ご遺族と解剖の担当者が接触することはありません。そのため、ご遺族から同意を頂く事ができませんが、ご遺族の意志でいつでも本研究への協力を拒否することが出来ます。そのことにより不利益を被ることは一切ありません。

研究の方法について

対象は、倫理委員会承認から2023年12月31日までの5年間に杏林大学で法医解剖（司法解剖、承諾解剖、新法解剖、行政解剖）を受けられたご遺体の検査後の保存臓器（脳組織）とします。研究期間は、倫理委員会承認後～2023年3月31日とし、予定の事例数は30例です。保存臓器は、将来に他の研究に使用される可能性があります。

プライバシーの保護について

この研究で得られた結果は、学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。また、司法解剖の鑑定内容や裁判に影響を与えることも一切ありません。

資金源等について

研究は、杏林大学の講座研究費で実施するものです。この研究に関して費用の負担は生じません。また、謝金はありません。

研究に関する窓口

杏林大学 医学部 法医学

研究責任者氏名:	武市 敏明	職名:助教
分担者氏名 :	北村 修	職名:教授
	桐生 京佳	職名:准教授
	山田 真嗣	職名:助教

金沢大学 医薬保健研究域 医学系 法医学

分担者氏名:	塚 正彦	職名:教授
--------	------	-------

相談窓口:研究実施教室の連絡先

電話:0422-47-5511(代表) 内線:3433